



発行 青森県立浪岡養護学校 父母と教師の会 会報130号
発行日 令和7年3月12日

りんごの丘

浪養ゆるキャラ 「浪にゃん」

〒038-1331 青森市浪岡大字女鹿沢字平野215-6
Tel 0172-62-6000
HP アドレス <https://www.namioka-shien.asn.ed.jp/>

おしゃベル会 & PTA 役員会

1月31日(金)、「おしゃベル会」が開催されました。5名の方が参加し、和やかな雰囲気ではベルマークのカット作業や、仕分け作業などを行いました。今年度は、全2回実施し、とても充実した活動となりました。自宅ではベルマーク活動へもたくさん協力いただき、ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

同日、PTA役員会が実施され、会長さんをはじめ6名の役員の皆さんが出席し、今年度の取り組みを振り返りました。コロナ禍以降、しばらく中止していた2つのPTA活動を今年度、復活させることができました。1つ目は、運動会のPTA競技です。こちらは、当日の呼びかけにもかかわらず、たくさんの方の皆様に参加いただき、大変盛り上がりしました。2つ目は、家庭教育学級での研修旅行です。「学校を離れ、様々な場所で体験活動をしてみたい」という会員の声を受け、具体的な体験内容について、役員間で事前にアンケートを実施したところ、「藍染、ガラス工房、果物狩り、パワースポット巡り、昼食場所のグルメ情報収集」など、たくさんの方のアイデアが集まり、その後の役員会での話し合いの結果「板柳町ふるさとセンター」への旅行が実現しました。

次年度も取り組みの継続に向け、PTA競技の種目や研修旅行の行き先や体験内容について、会員の皆様からのご意見をいただければ幸いです。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



入賞者

- 青森県特別支援学校技能検定・発表会
 - PC入力分野 3級 鳴海 敦聖、前田 寛仁
 - 清掃分野基礎コース(テーブル拭き) 1級 高等部生徒
 - パフォーマンス発表分野
 - 上級「盟友N☆BOYS」小野寺 駿、加藤 一護
- 第43回全校肢体不自由児・者美術展「書」の部 佳作 中学部生徒 鎌田 洋信
- 青森地域防災協会防火作品コンクール 小学4年生の部 佳作 小学部児童
- 第45回青森県高等学校総合文化祭 文芸部門 詩の部 入選 小野寺 駿
- ありのままの表現展2024
 - 「グッとくるデザイン賞」受賞 小学部児童
 - 「ナイス！自己表現表」受賞 中学部生徒
 - 「あふれる心緒賞」受賞 佐藤 蓮
- 第22回東奥少年少女文芸大会
 - 詩部門 入賞三席 山口直篤
 - 川柳部門 佳作 小野寺 駿
 - 佳作 高等部生徒

今後の予定

- 3月26日(水) 修了式及び退任・離任式
- 4月7日(月) 入学式・前期始業式
- 4月19日(土) 参観日、PTA総会・役員会、家庭教育学級会開級式

編集後記

今年度も多くの方々のご協力により、「りんごの丘」を発行することができました。心より感謝申し上げます。今年度はPTA活動が、より一層の盛り上がりを見せたことで、記事も充実した内容になりました。来年度もPTA活動や広報誌の作成にご協力のほどよろしくお願いいたします。

「下手くそに 思いっきり 自分勝手に」

校長 下川原 慶子

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。これから多くの試験が待ち受けていることと思いますが、これまで学んできたこと、経験したことは力となり、これからの人生の支えになるはずです。自分を信じて一歩一歩、歩み続けてください。今日まで深い愛情をもって育ててこられた保護者の皆様に、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。これからも陰日向にお子様のご成長を支え、見守りくださるようお願いいたします。

さて、先日、本校が来年度に創立六十周年を迎える記念事業として、全校児童生徒で共同制作を行い、青森病院との渡り廊下に「ライラックの丘」が完成しました。これは、白く殺風景な壁に元気が出るような工夫ができないかという職員の声がかきつけたでした。外部講師として美術家の時苗正樹氏に依頼し、二度来校していただきました。そこで時苗先生が児童生徒に伝えた言葉が「下手くそに 思いっきり 自分勝手に」でした。「自分勝手にしていい」という言葉は学校ではなかなか聞かないフレーズなので、私もワクワクしました。その言葉通り、児童生徒はそれぞれ自分の思うように表現していて、見ていて楽しかったです。人生の中で「自分勝手に」する場面は誰にでもあると思います。気持ちのバランスを取るために必要なことでもあります。悪い意味に捉えられがちな「自分勝手に」ですが、場面によってはとても大切なことを考えさせられる機会にもなりました。

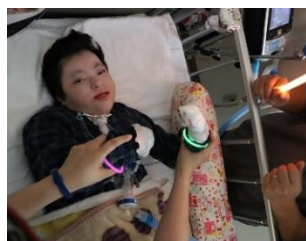
今年度も保護者の皆様や隣接する青森病院の皆様、そして、地域の皆様には温かいご支援やご協力をいただき誠にありがとうございました。次年度も引き続きのお力添えをよろしくお願いいたします。そして、本校に誕生した「ライラックの丘」にぜひ、いらしてください。

浪養祭

11月2日(土)、午前中は体育館にて演目発表及び高等部企画が、午後は病棟にて病棟浪養祭が行われました。小学部演目では、物語「くじらぐも」をテーマに、3mほどの大きなくじらと共に制作や音楽など日々の学習の様子を発表しました。中学部演目は「Nami-You TV part2」と題して、日々の学習や宿泊生活学習、修学旅行の様子をテレビ番組風に発表し、最後は「J-Bling-Bang-Bang Born」に合わせたダンスで盛り上がりを見せました。高等部2B・3・4組による演目「フリージューが待つフランスへ。来たぞ、パリ五輪。」では、学習の様子をオリンピック種目に合わせて発表しました。今年度は児童生徒も体育館にて他学部の演目を鑑賞することができ、互いの特技や長所、意外な一面に驚かせられながら、大きな拍手で会場を盛り上げました。

高等部企画「なみようマーケット」は、小野寺駿さん、加藤一護さんによるギリライブからスタート。今年度の技能検定パフォーマンス部門で上級を認定された庄巻のライプパフォーマンスにより熱気に包まれた会場には、たくさん

の児童生徒・保護者が来場し、大盛況となりました。ベトナム生を対象に行われた病棟浪養祭では、午前中の演目の様子を視聴したり、学習の成果を披露したりして、保護者に日々の頑張りを伝えることができました。中には賞状やメダルをもらって笑顔を見せる児童生徒もいました。





～卒業生へのメッセージ～

小学部卒業おめでとう。小学部での6年間で学んだ事や素敵な出会いを大切に、中学部でも色々学んでね!!

小学部 工藤輝希 母より

卒業おめでとう。M・Tの未来に成功と幸福が待っているよ。これからも一緒に頑張っていこうね。

中学部 M・T 父、母より

中学卒業おめでとう。これからは自分の人生を自分なりに大事にしていってください。一緒に頑張りましょう。

中学部生徒 母より

卒業おめでとう。沢山学び多くの思い出が残った3年間でしたね。これからも頑張りやの輝奈を応援しています。

中学部 森輝奈 父より

高等部卒業おめでとう。学校生活頑張りました。そこで得た事に自信をもち、これからも色々頑張っていこう!

高等部 佐藤蓮 父より

卒業おめでとう。たくさんの人たちに支えられて、楽しく過ごすことができたね。中学校でもがんばろうね。

小学部 笠井菜央 母より

中学部卒業おめでとう。思う様に出来なかった事も多かったけど、よく頑張ったね。

中学部生徒 母より

皆さんのおかげで、楽しい中学生活になりましたね。ありがとうの気持ちを忘れず、高校でも頑張ってください。卒業おめでとう。

中学部 櫛引快斗 母より

中学部卒業おめでとう。片手に乗るくらい、小さかった子が、ここまで成長して、笑顔を見せてくれる事に感謝です。

中学部 小山日向音 母より

卒業おめでとう。沢山、色々な事があったけど、全部自分の経験なので、大事にしてください。よく頑張りました。

高等部 成田竜磨 母より

小学部卒業おめでとう。6年間の学校で学んだ事、出来るようになった事を生かし、中学部でも頑張りましょう。

小学部 R・K 母より

卒業おめでとう。3年間でいろいろな経験ができましたね。今後のさらなる成長に期待しています。

中学部 佐々木陸 母より

中学部卒業おめでとう!!3年間大変頑張りました。高等部でも経験を生かして、全力で楽しんでいこうね!!

中学部 鎌田洋信 母より

あつと言う間だね。現場実習やバス通学は休まずに頑張りましたね。自慢の息子です。卒業おめでとう。

高等部 小野寺駿 母より

卒業おめでとう。沢山の思い出が詰まったかけがえの無い大切な12年の学生生活でしたね。皆様感謝しています。

高等部 小野みづき 母より



9月20日(金)、学校を離れてのPTA活動「研修旅行」を実施しました。
参加者は保護者3名、渉外部の教員2名の計5名で、板柳町ふるさとセンターに集合し、りんごの葉を使った草木染を体験しました。その後、昼食を取りながら楽しい時間を過ごし、親睦を深めることができました。
りんごの葉を原料にした染液は、葉を採る季節によってピンク色や黄色、茶色など発色が変化するという講師の方のお話に驚きました。最初に、白い布をつまんでビニールの細い紐をきつく巻き上げ、絞り模様を施す作業を行った後、鍋で熱した染液に入れ、なじむようにかき混ぜました。染めを重ねていくことで色の濃さが増すようです。鍋から取り出して冷水で洗い、アイロンをかけて仕上げました。絞りをほぐくと、偶然の模様が出来上がり色の濃淡も良い味が出ていて、世界に一つだけしかない作品の完成に、みんな満足していました。
今回の研修旅行の行き先は、PTA役員で意見を出し合いよく吟味して決定することができました。他にも「こんな楽しい場所を知っていますよ...」という方がいらしたら、ぜひ教えてください。皆さんの意見をお待ちしています。



第3回家庭教育学級 学習会

「こぎん刺しで素敵な小物を作ろう」

「私だけのいっぴんを私の手で」

12月6日(金)に行われた今年度3回目の学習会では、本校保護者の千葉純子さんを講師にお迎えして「こぎん刺し」に取り組みました。千葉さんは、「こぎん研究所」でお仕事をされている「こぎん刺しのプロフェッショナル」です。プロの技を間近に見たり、直接質問したりしながら、マンツーマン指導を受けるという贅沢な時間を過ごすことができました。当日は、「やってみたいと思っていた」「子供の頃の家庭科以来だが、久しぶりにやってみたくなった」「手芸が大好き」等々、いろいろな理由で本校職員も多数参加しました。針を持ち始めてしばらくすると、みなさんすっかり夢中になり、作業の合間の休憩時間に、本校の誇るコーヒーマイスター達の淹れた美味しいコーヒーでほっこりしつつも、「もう少しやって、キリを付けたい!」と、いそいそと作業に戻る人もたくさん見られました。みなさん、こぎん刺しの魅力に取りつかれたようです。
千葉さんの、わかりやすい指導に加え、保護者同士の親近感もあって、笑い声の絶えない、和気あいあいの楽しい時間となりました。

